

□ 最新がん統計 □

■ 罹患の概要

＜最新集計について＞

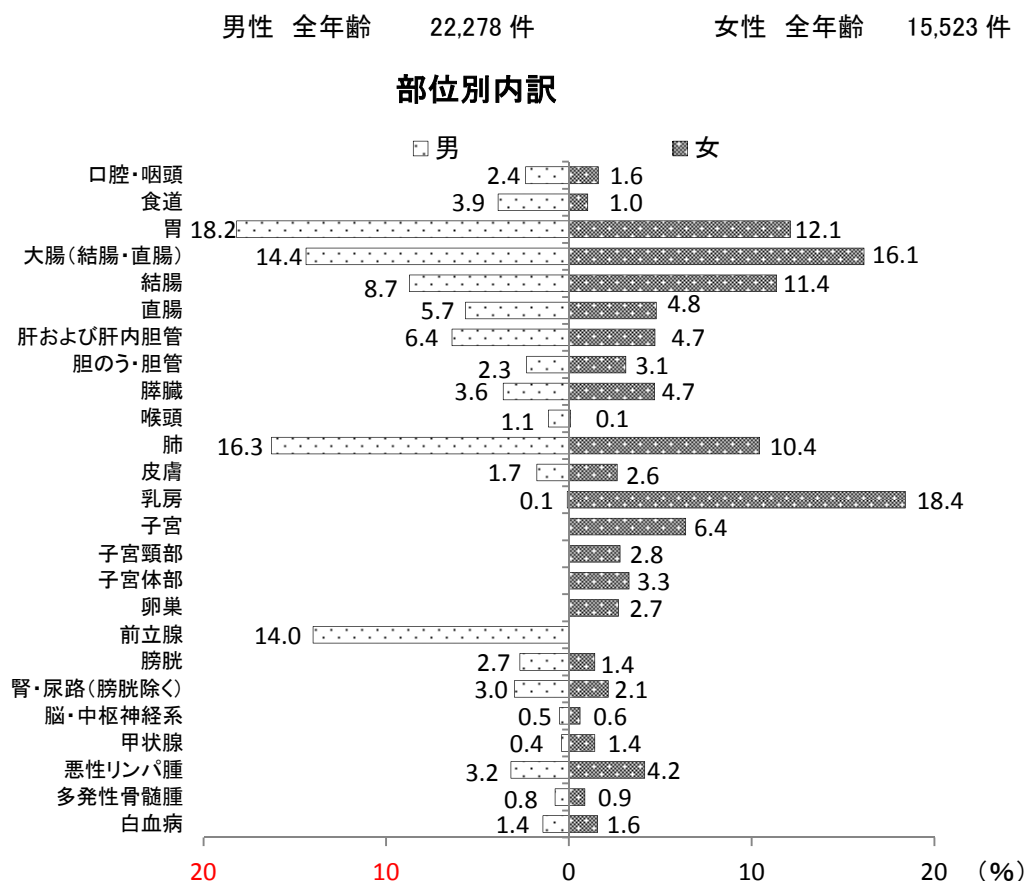
- ・集計の期間 罹患年月日が 2013(平成 25)年 1 月 1 日から 12 月 31 日の間の 1 年間
- ・集計の時期 2017(平成 29)年 3 月 16 日現在
- ・罹患年月日の決め方
 - ①届出による登録例は初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする。
 - ②届出がなく、死亡転写票によってがん罹患が判明した例は、死亡年月日をもって罹患年月日とする。
- ・集計の対象
 - ① ICD-O-3 分類の性状 2(上皮内), 3(悪性、浸潤性)で示される新生物(脳腫瘍は性状にかかわらず集計対象)
 - ② DCO 例については、①に加えて、ICD-O-3 分類の性状 1(良性・悪性の別不明:例悪性の明示のない〇〇腫瘍)で示される新生物による死亡で、部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺
- ・精度指標
 - DCN: 17.1% DCO: 15.9% MI: 0.43

＜罹患の概要＞

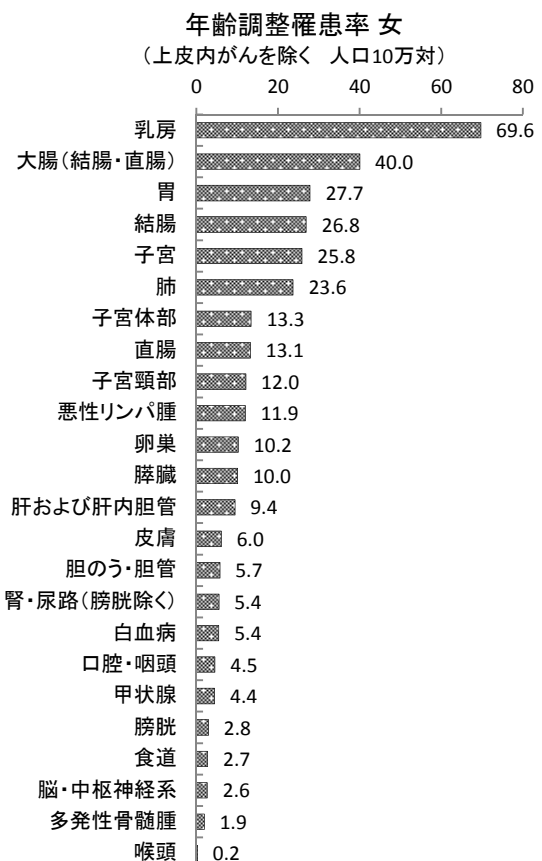
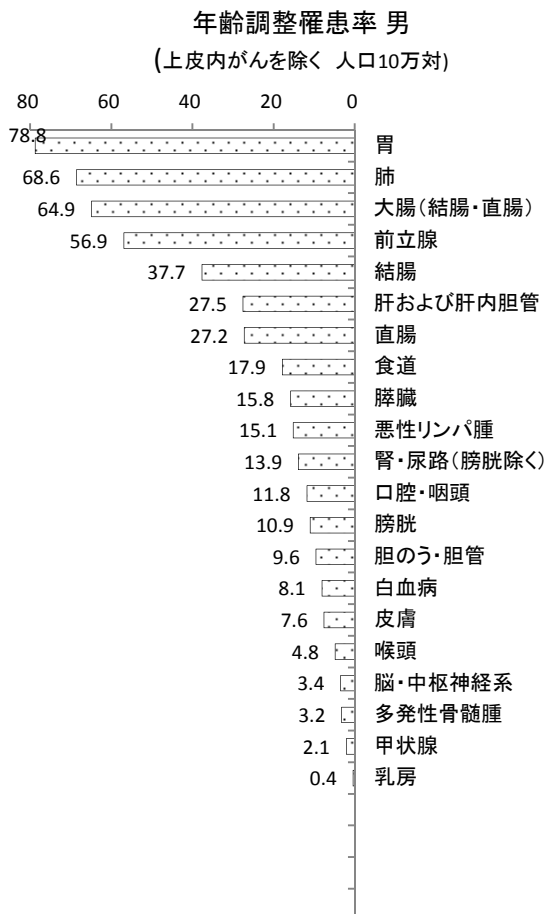
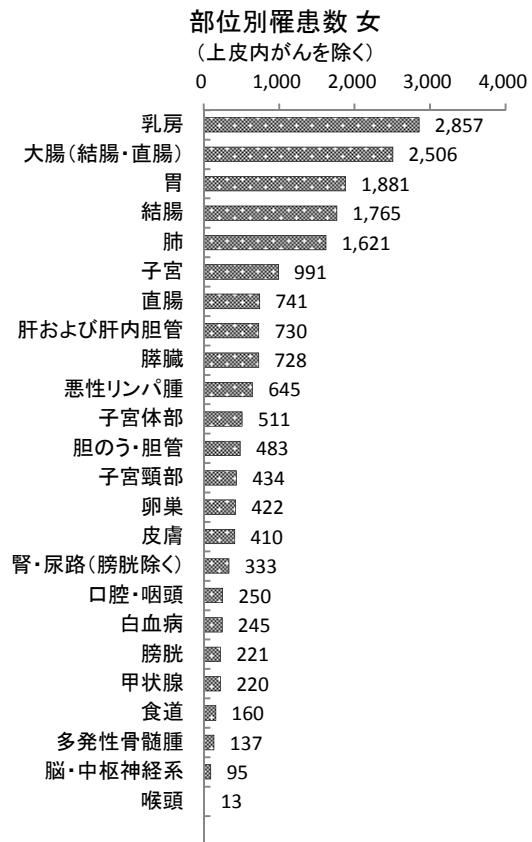
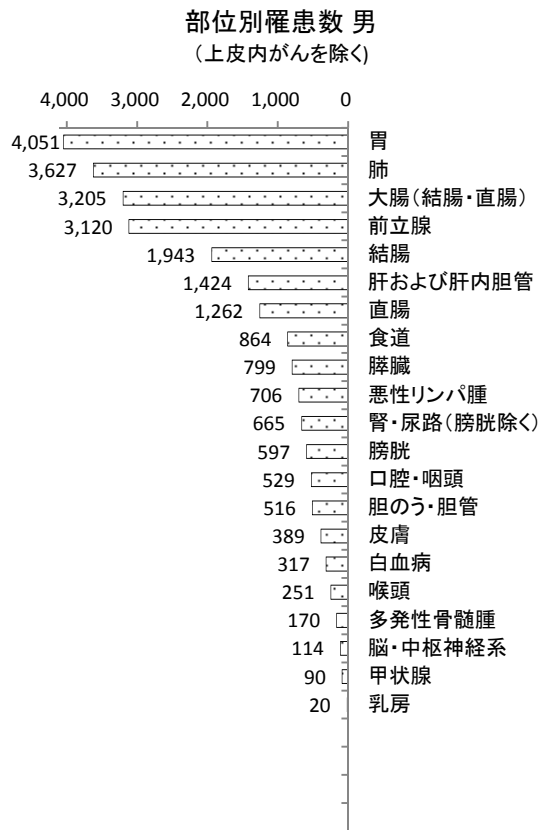
2013 年に兵庫県において、男性延べ 22,278 件(上皮内がんを除く)、女性延べ 15,523 件(上皮内がんを除く)の、合計延べ 37,801 件(上皮内がんを除く)のがんが、新たに診断された。

男性で最も多いがんは胃がんであり、肺、大腸(結腸・直腸)、前立腺、肝、食道と続く。女性で最も多いがんは乳がんであり、次いで大腸(結腸・直腸)、胃、肺、子宮、肝と続く(図 1)。

図 1 部位別内訳(%) (表 1-A から作成)



部位別性別罹患数及び年齢調整罹患率(人口 10 万対)



●年齢別に見たがんの罹患

年齢別にみると、2013年に新たに診断されたがんの割合は、男女ともに約7割(男性77.0%、女性68.7%)は65歳以上であった。働き盛りの40-64歳の年齢層では、男性は全体の約2割、女性は約3割を占めていた(図2)。

女性の40-64歳のがんが多いのは、この年齢層の乳がんが多いためである。また、女性の15-39歳のがんが男性よりも多いのは、この年齢層の乳がんと子宮がんが多いためである(図3)。

性別にみると、ほとんどの部位のがんは、男性が女性より罹患率が高い。男女とも年齢が高くなるほど罹患しやすく、特に50歳以降で罹患率が上昇している。主ながんでは、男性の胃がん、肺がんは45歳以上、前立腺がんは50歳以上から急激に上昇している。女性の乳がんは、25歳以上から増え始め、45-49歳でひとつのピークを迎えている。子宮頸がんは50歳未満で多い(図4)。

図2 年齢別内訳(%) (表2-Aから作成)

年齢	罹患数		罹患内訳	
	男	女	男	女
14歳以下	50	46	0.2%	0.3%
15-39歳	266	464	1.2%	3.0%
40-64歳	4,813	4,361	21.6%	28.1%
65-74歳	7,490	3,844	33.6%	24.8%
75歳以上	9,659	6,808	43.4%	43.9%
合計	22,278	15,523	100.0%	100.0%

図2-1年齢別罹患数

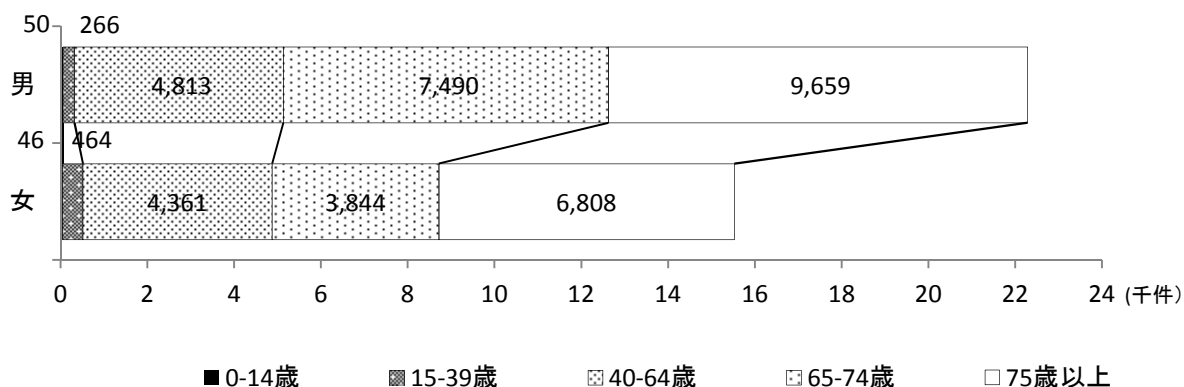


図2-2年齢別罹患内訳

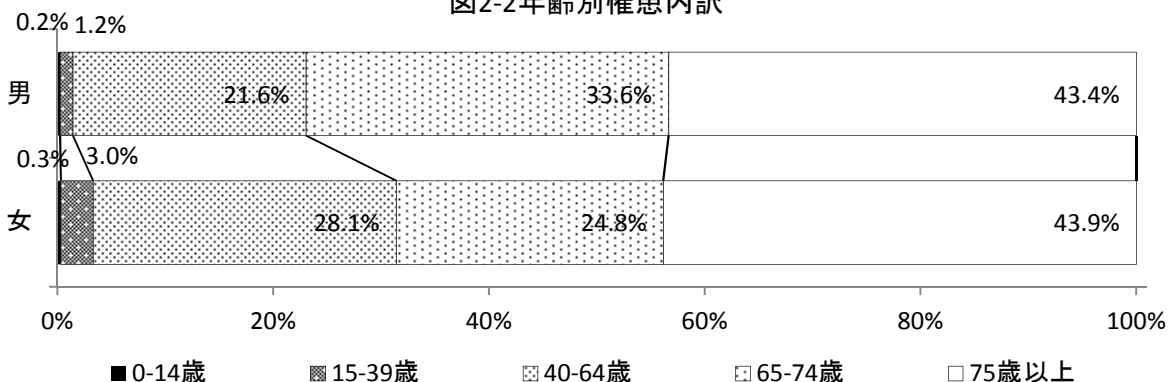


図3 年齢別部位別罹患数（表2-Aから作成）

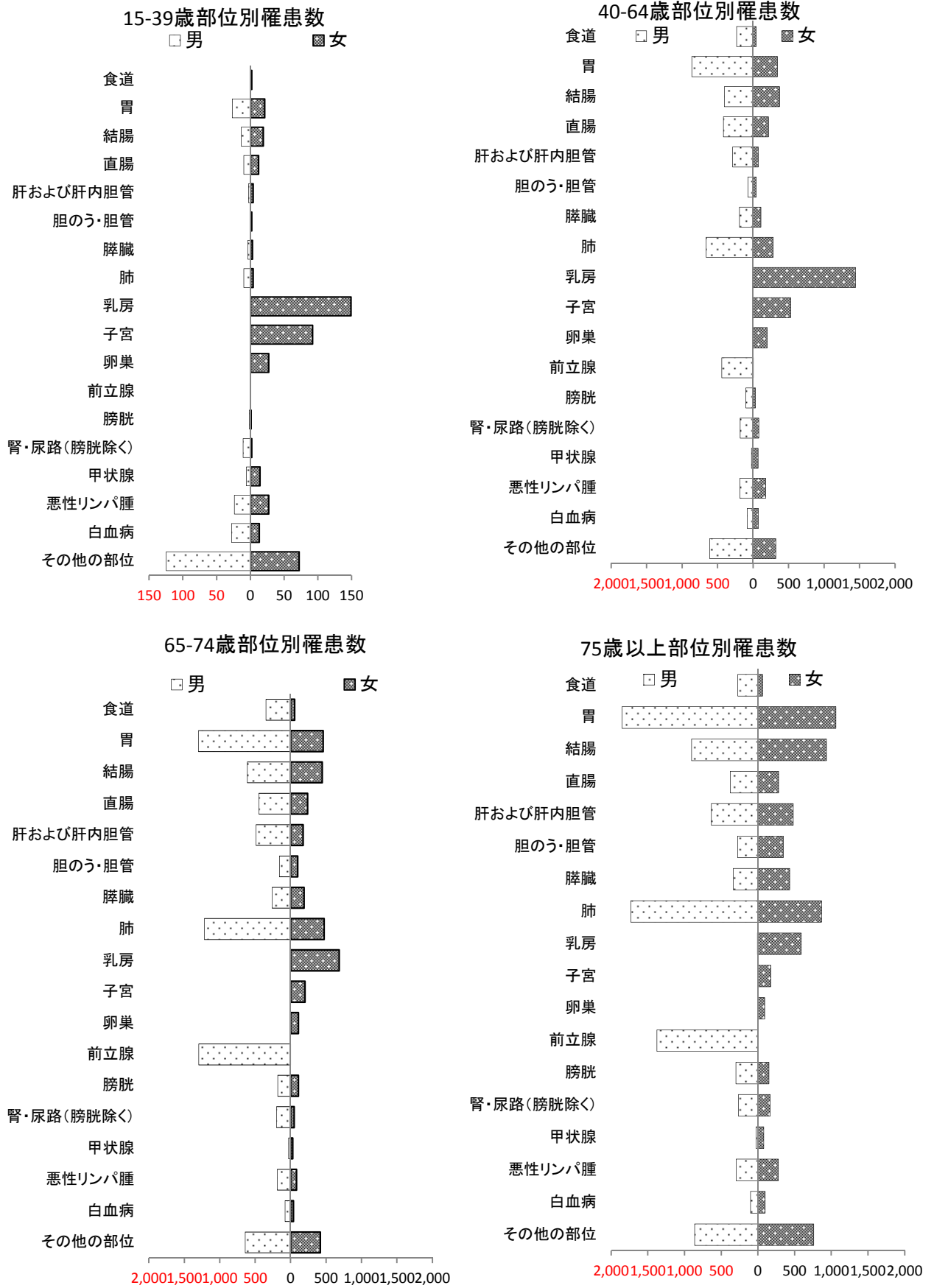
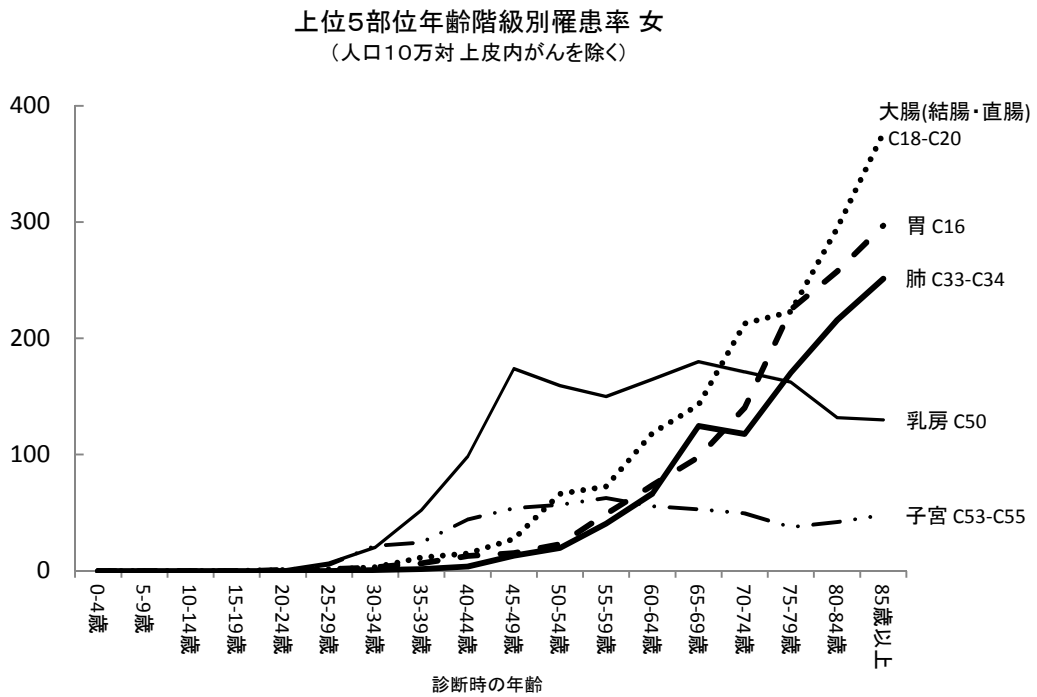
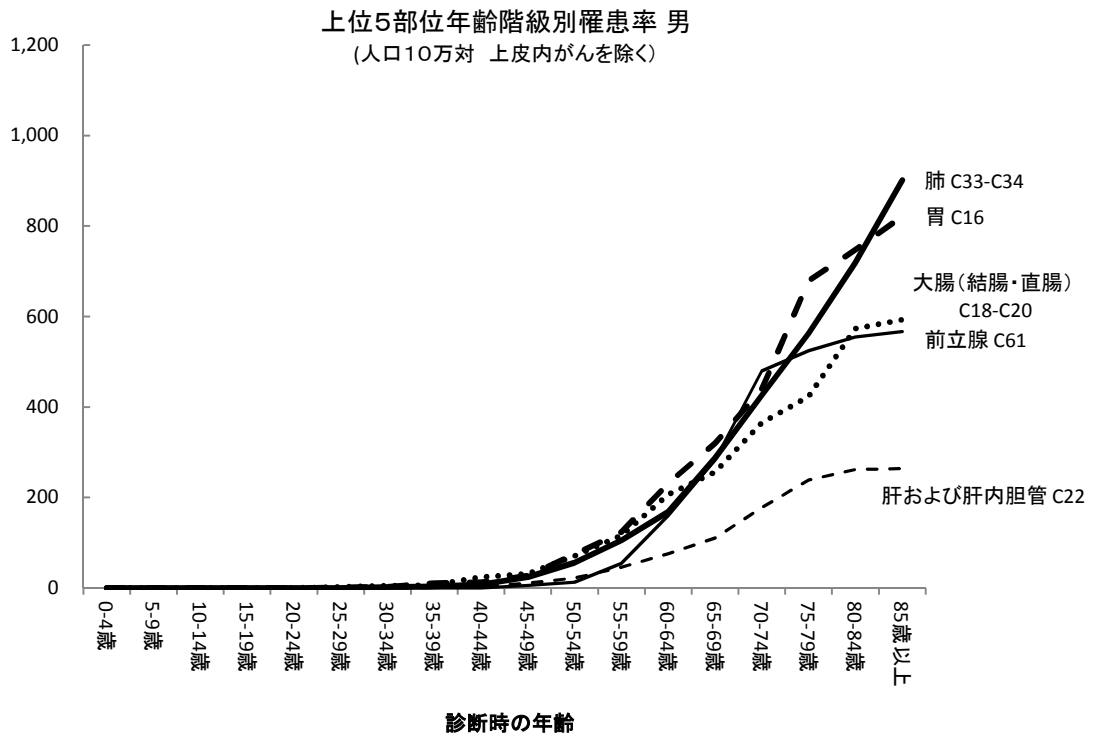
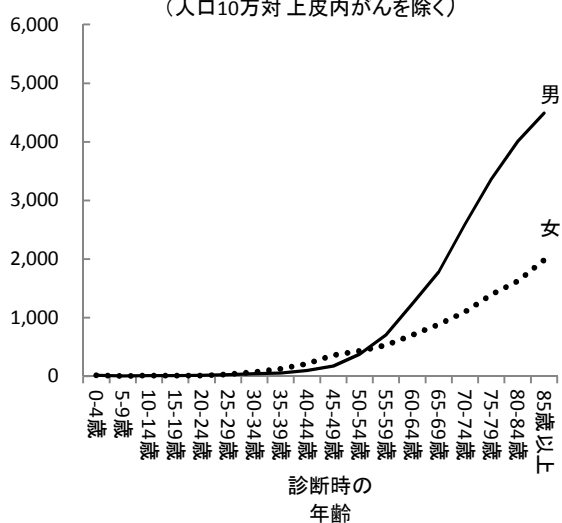


図4 部位別年齢階級別罹患率:人口10万対 (表3-A、Bから作成)



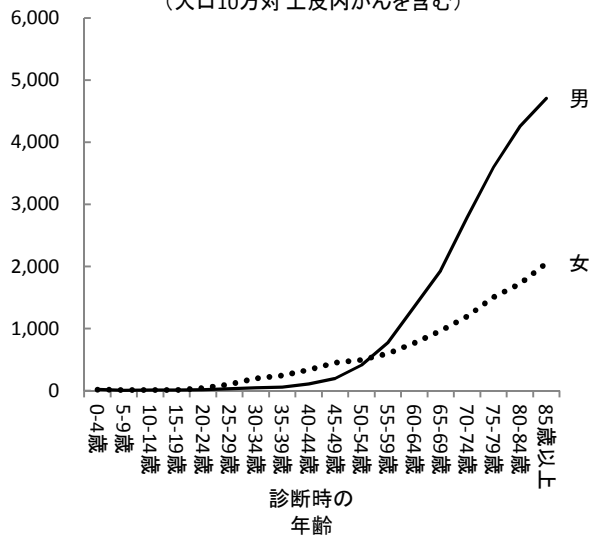
年齢階層別罹患率 全部位

(人口10万対 上皮内がんを除く)



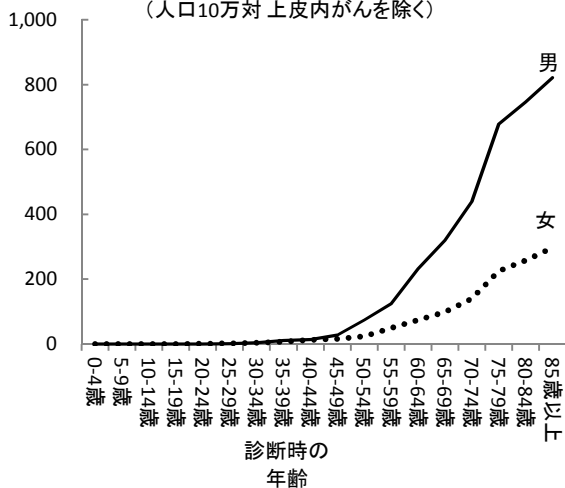
年齢階層別罹患率 全部位

(人口10万対 上皮内がんを含む)



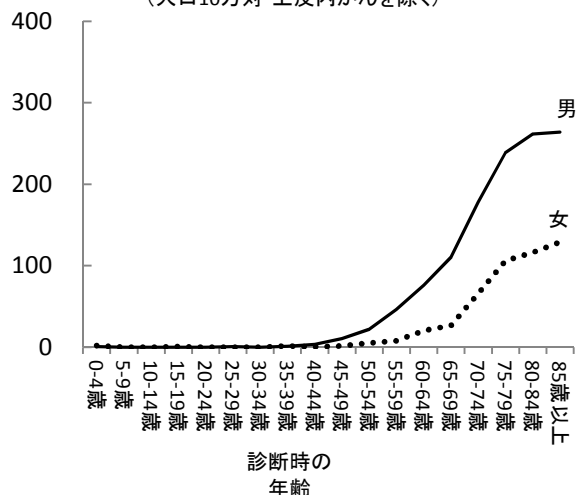
年齢階層別罹患率 胃

(人口10万対 上皮内がんを除く)



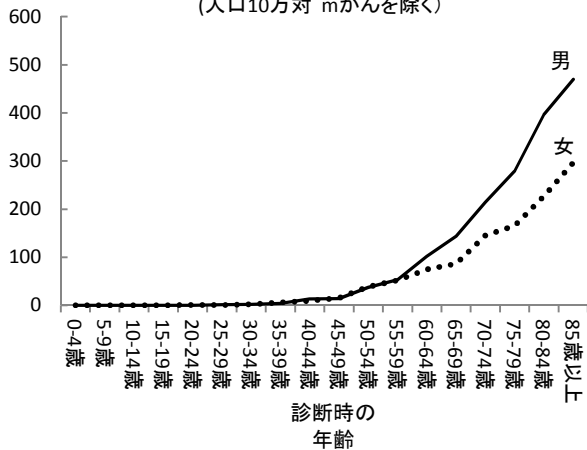
年齢階層別罹患率 肝及び肝内胆管

(人口10万対 上皮内がんを除く)



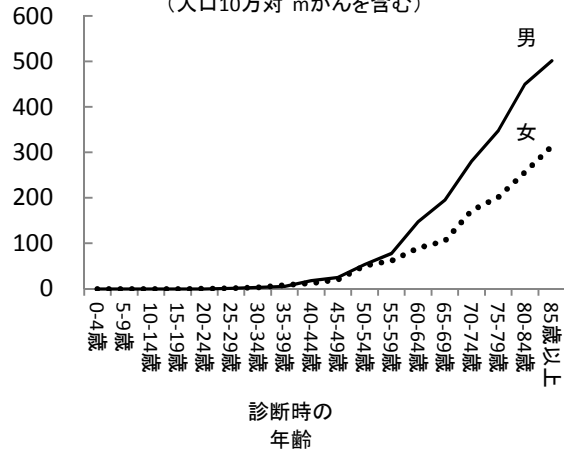
年齢階層別罹患率 結腸

(人口10万対 mがんを除く)

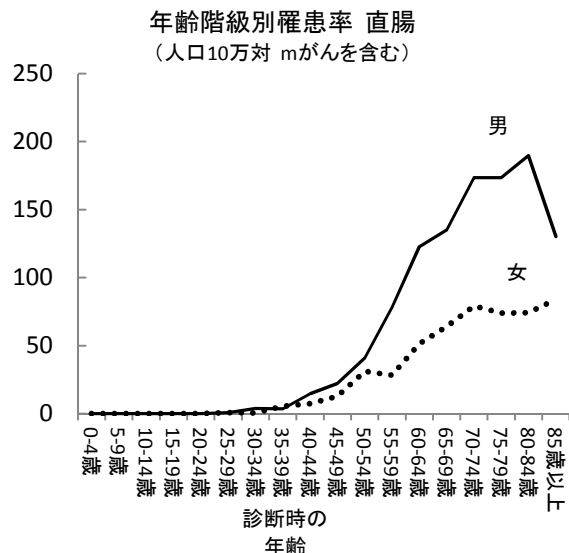
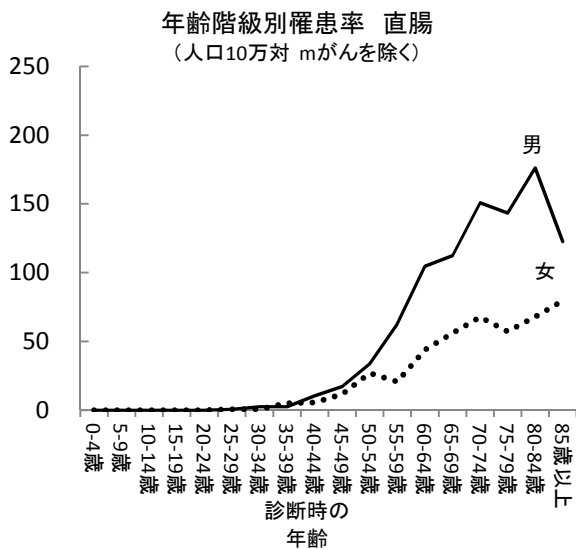


年齢階層別罹患率 結腸

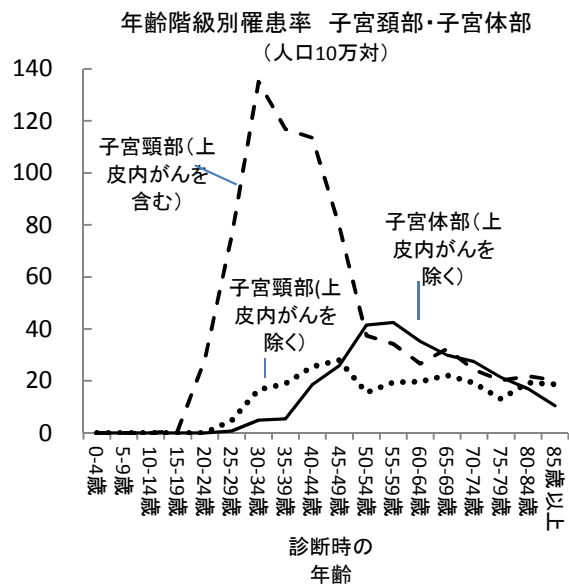
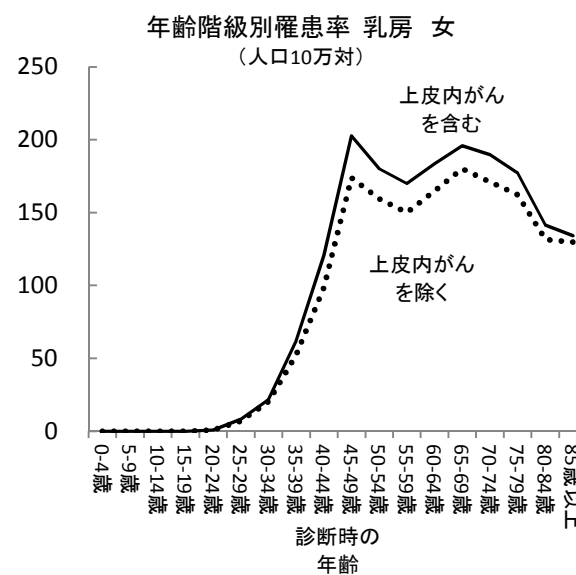
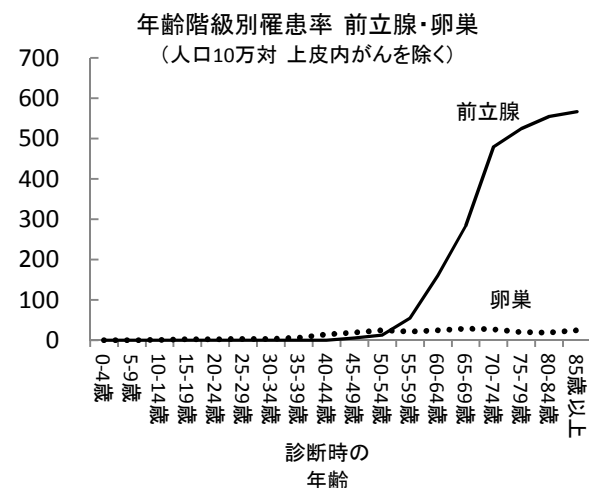
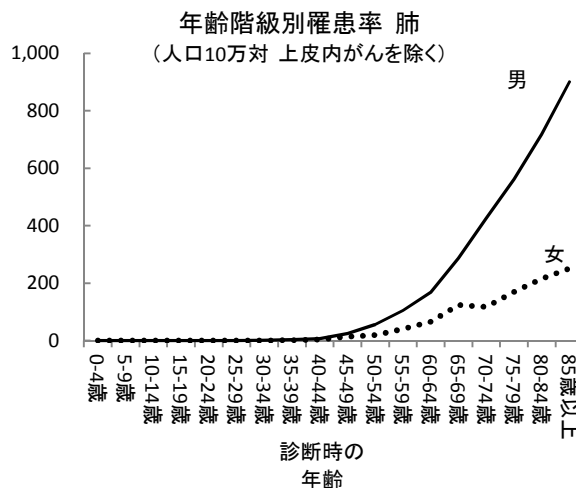
(人口10万対 mがんを含む)



注) mがんについて: 我が国の地域がん登録では、大腸(結腸・直腸)の粘膜がん(mがん)は上皮内がんとして扱う。



注) mがんについて: 我が国の地域がん登録では、大腸(結腸・直腸)の粘膜がん(mがん)は上皮内がんとして扱う。



●兵庫県のがん罹患の特徴

本県の罹患率は、全国とほぼ同じような傾向にあるが、男性の胃、肝臓、肺がん及び女性の胃、肝臓がんの罹患率は全国値より高い(図5)。一方、女性の乳房がんが低い。なお、年齢調整罹患率は、(図6)のとおりであり、同じ傾向にある。

図5 部位別がん粗罹患率:人口10万対 (表1-Aから作成)

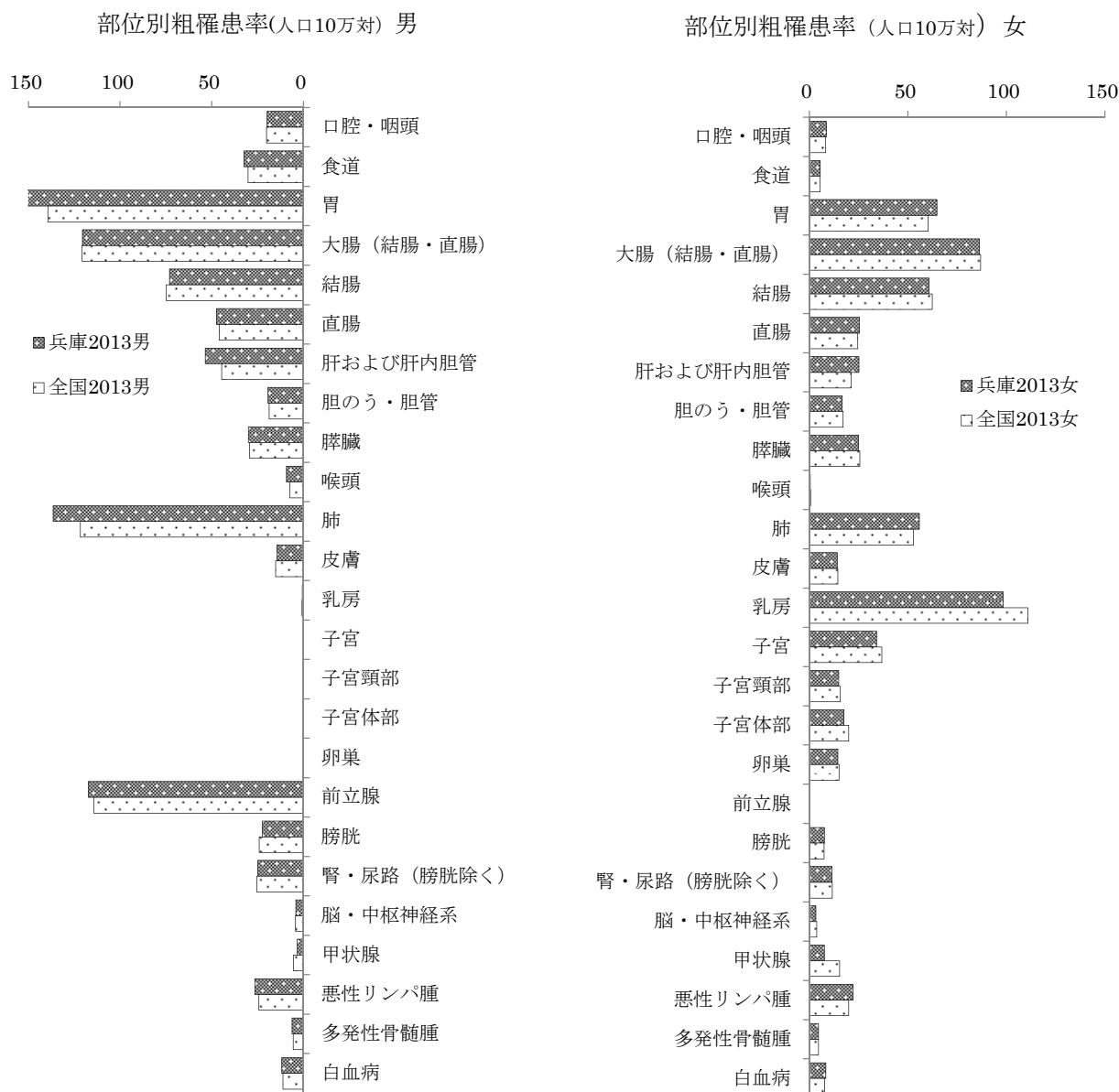
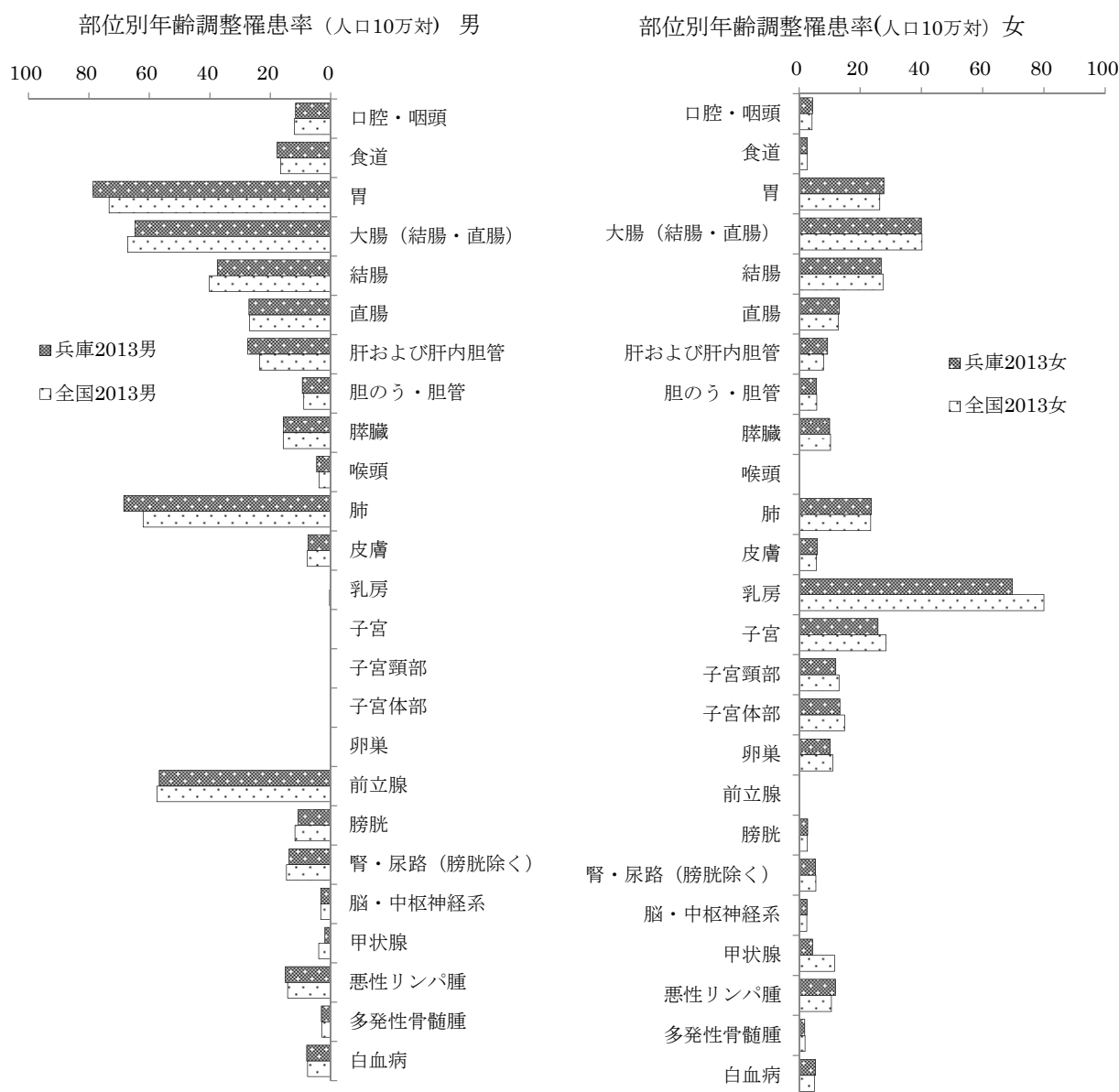


図6 部位別年齢調整罹患率:人口10万対 (表1-Aから作成)



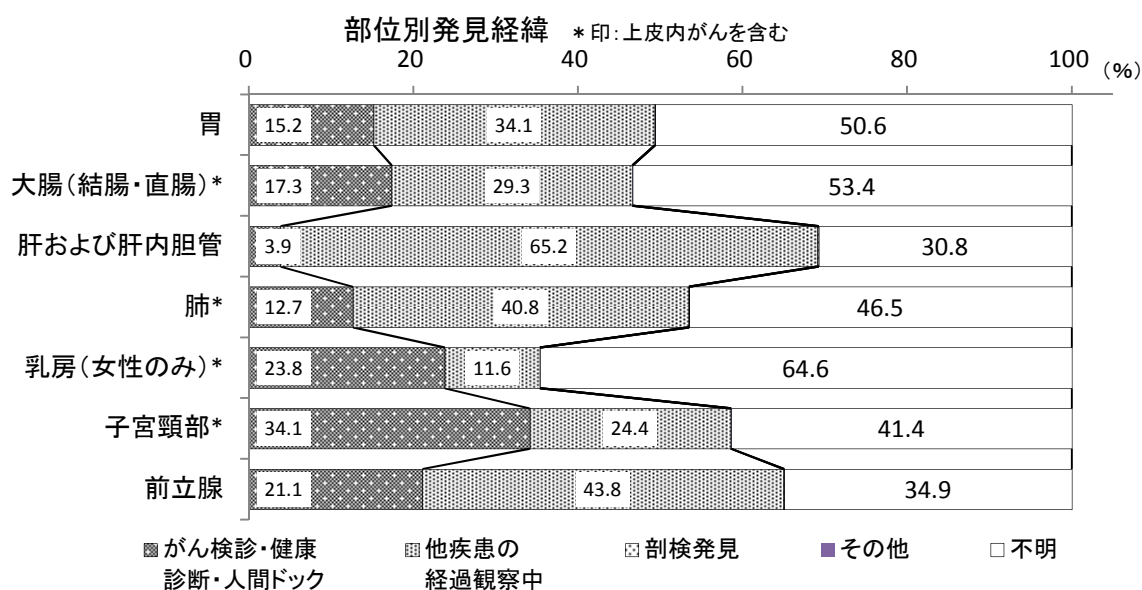
* 全国のは、国立がん研究センターがん対策情報センター発行「全国がん罹患モニタリング集計 2013 年罹患数・率報告」より引用

●発見経緯

一般に検診が実施されている胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部において、がん検診もしくは健康診断や人間ドックが発見の契機となった症例の割合は、胃 15.2%、大腸 17.3%、肺 12.7%、乳房 23.8%、子宮頸部 34.1%で、前立腺においても、がん検診・健康診断・人間ドックが発見の契機であった症例の割合は 21.1%であった。その他・不明には何らかの症状による医療機関受診時の発見が含まれ、その占める割合が多いと推察される。

肝・肝内胆管において、他疾患の経過観察中の発見が多いのは、肝炎や肝硬変の治療中の発見が挙げられる。また、前立腺においては、前立腺肥大や PSA 高値の経過観察中の発見によると考えられる(図 7)。

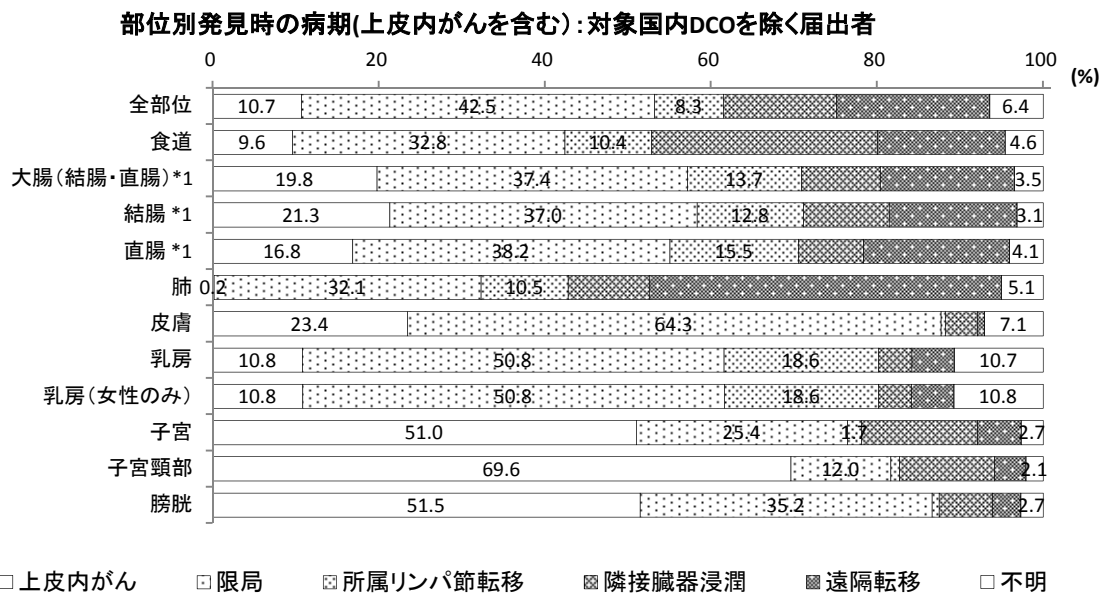
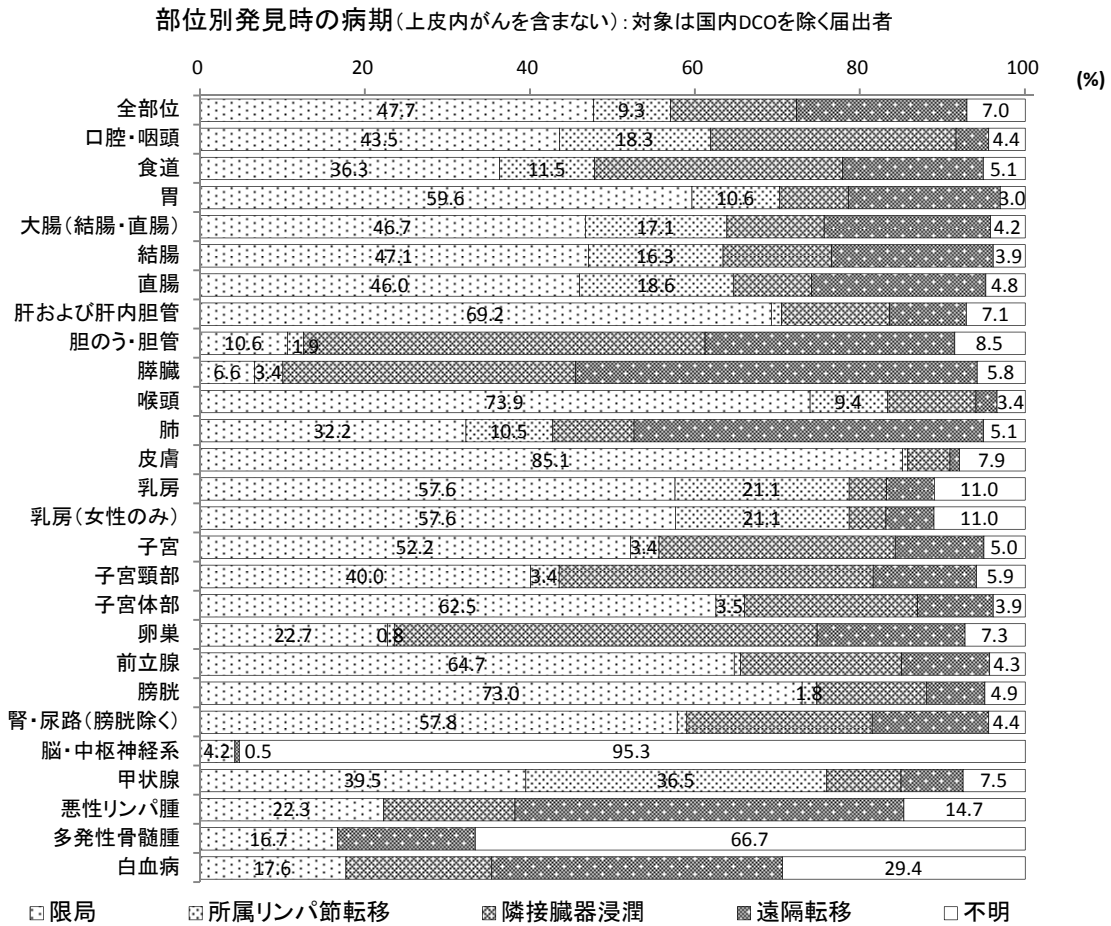
図 7 部位別発見経緯(%):対象は国内 DCO を除く届出患者 (表 4-A、B から作成)



●病期

胃、大腸、乳房、子宮、前立腺など、一般的にがん検診が実施されている部位においては、発見時の病期が上皮内、限局の割合が高い。一方、肺は、がん検診が実施されている部位ではあるが、発見時に遠隔転移があった割合が高い。また、膵臓、胆のう・胆管のように腫瘍が比較的大きくなるまで自覚症状の出にくい部位では、発見時に遠隔転移があった割合が高い。(図 8)

図 8 部位別発見時の病期(%):対象は国内 DCO を除く届出患者 (表 5-A、B から作成)

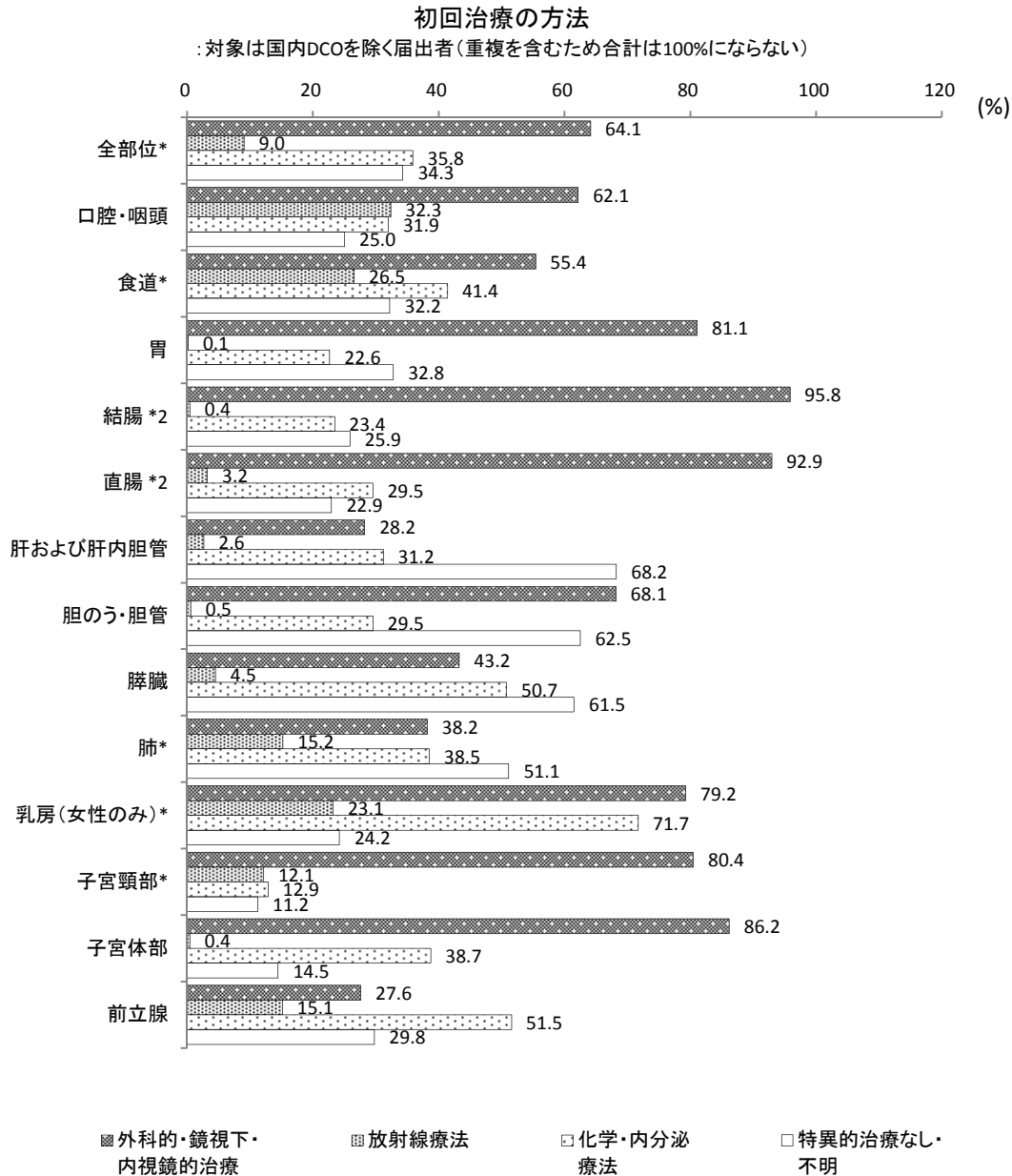


*1 粘膜がんを含む

●初回治療の方法

胃、大腸などの消化管、乳房、子宮では、手術などの外科的治療の割合が高い。初回治療の方法は、複数回答のため外科的治療、放射線療法、化学・免疫・内分泌療法を組み合わせていることが考えられる。(図9)。

図9 初回治療の方法(%):対象は国内DCOを除く届出患者(表6-A、Bから作成)



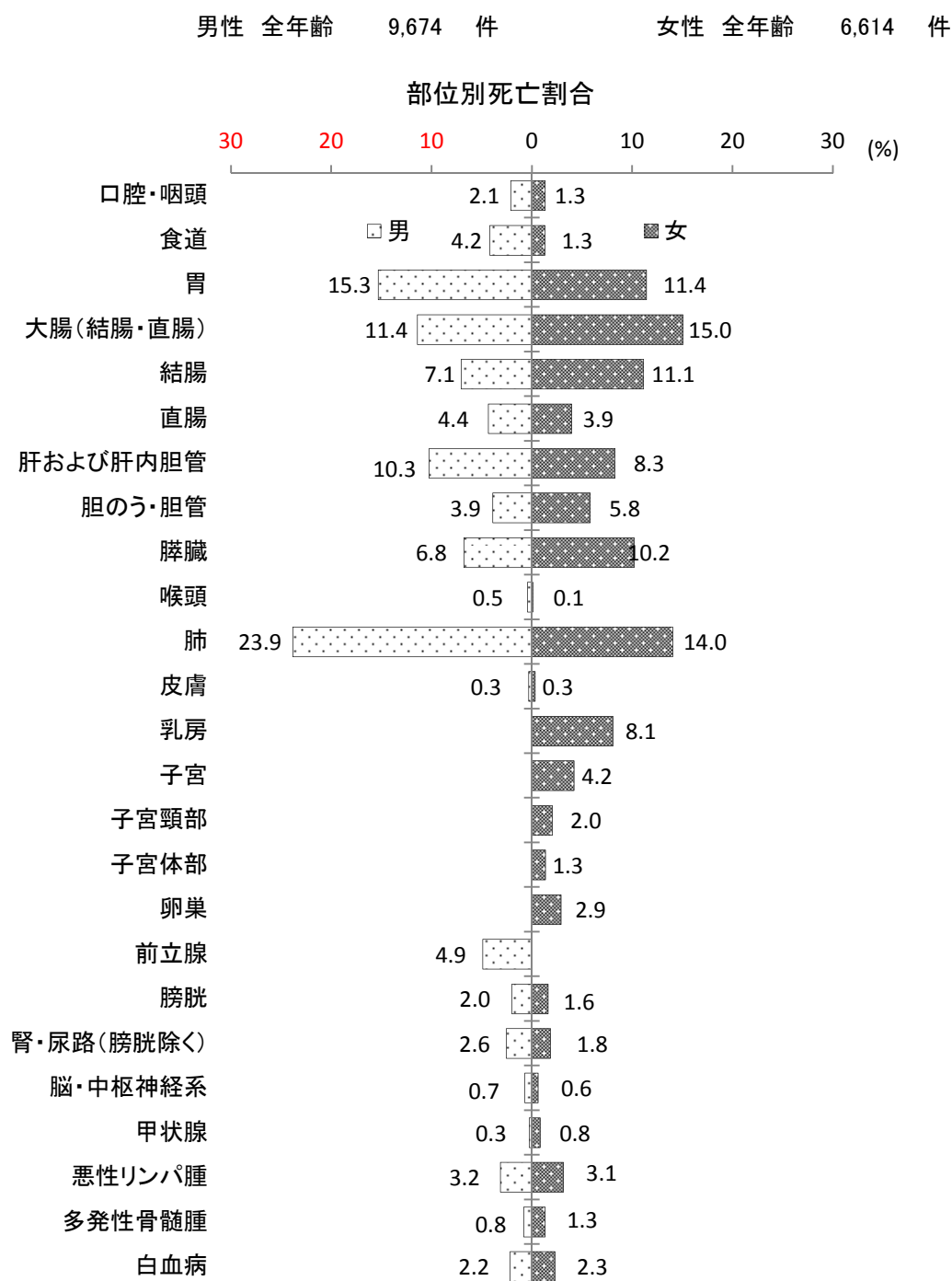
* 上皮内がんを含む。

■死亡の概要

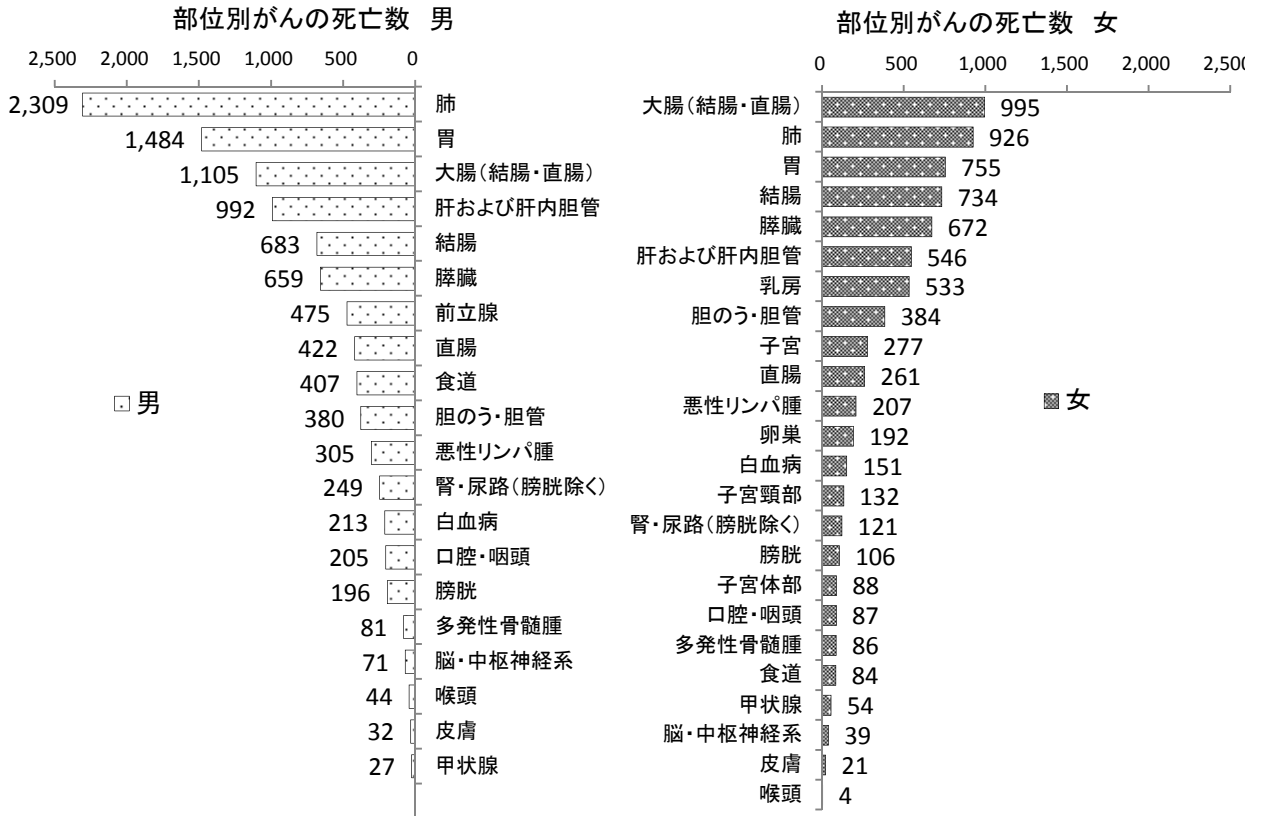
2013年に兵庫県において、男性9,674人、女性6,614人、合計16,288人が、がんで死亡していた。

部位別では、男性では肺がんが最も多く、次いで胃、大腸(結腸・直腸)、肝臓、膵臓がんの順であった。女性では、大腸(結腸・直腸)に続いて、肺、胃、膵臓がんが多かった。
(図10)

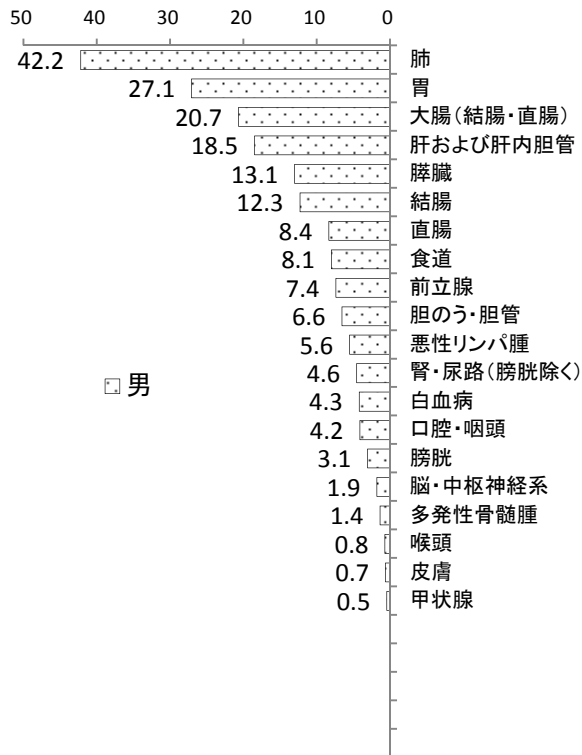
図10 部位内訳(%) (表9から作成)



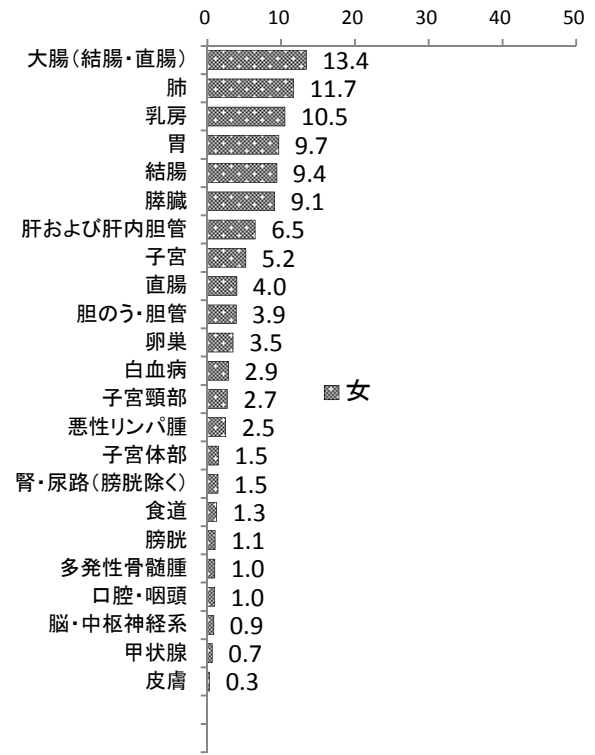
部位別性別死亡数及び年齢調整死亡率(人口 10 万対)



部位別年齢調整死亡率(人口10万対) 男



部位別年齢調整死亡率(人口10万対) 女



●年齢別に見たがんの死亡

男女ともに兵庫県で2013年にがんで死亡した者の約8割(男性82.9%、女性82.2%)が65歳以上であった。

ほとんどあらゆる部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い。(図11、図12)。

図11 年齢別内訳(%) (表10から作成)

性別	死亡数		死亡内訳	
	男	女	男	女
0-14歳	8	12	0.1%	0.2%
15-39歳	52	59	0.5%	0.9%
40-64歳	1,593	1,095	16.5%	16.6%
65-74歳	2,798	1,362	28.9%	20.6%
75歳以上	5,222	4,086	54.0%	61.6%
合計	9,673	6,614	100.0%	100.0%

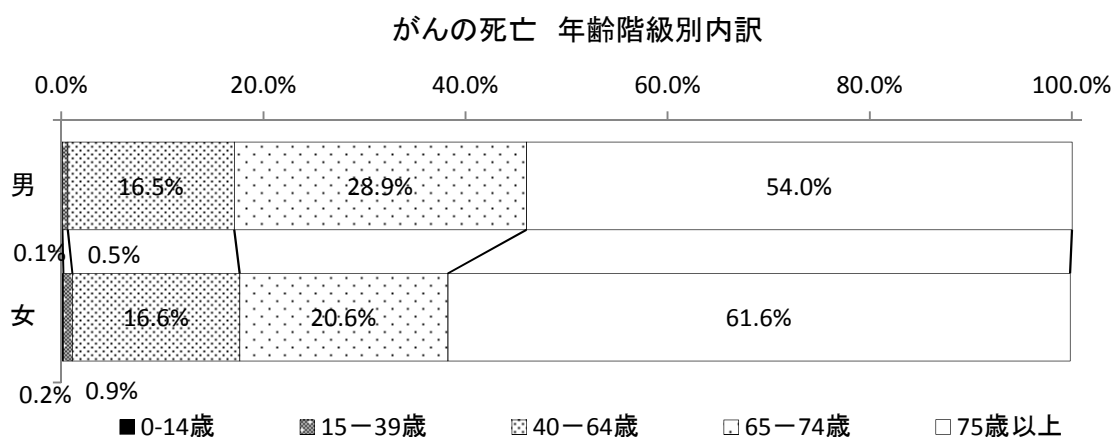
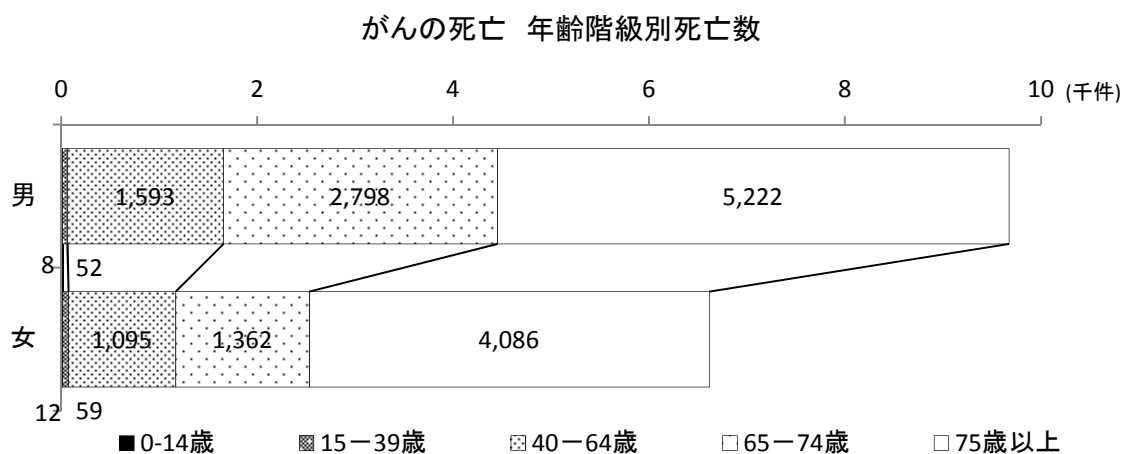
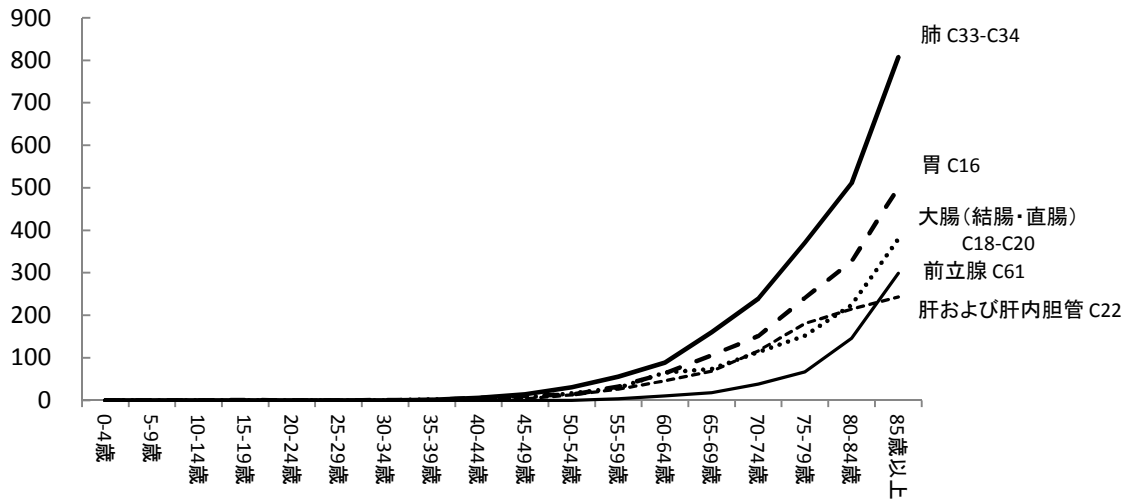
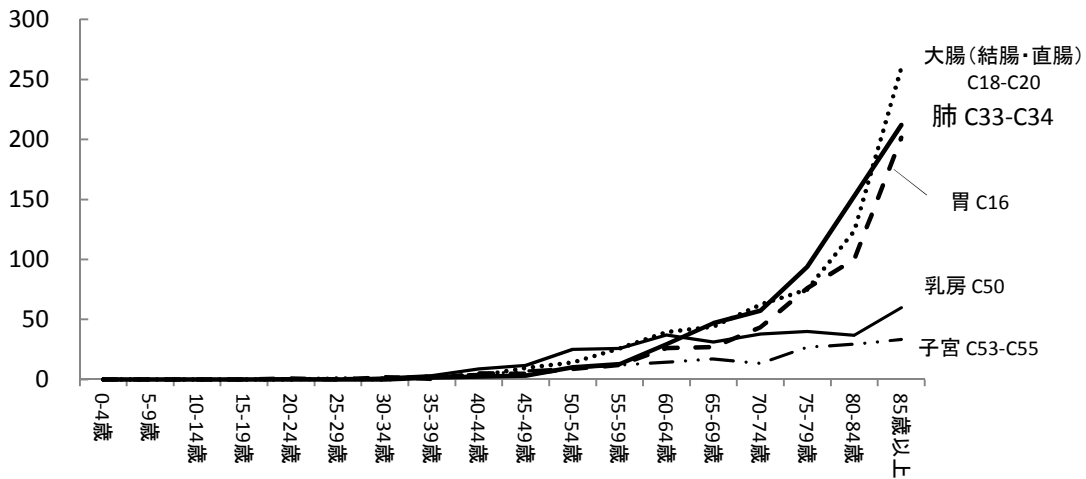


図 12 部位別・年齢階級別死亡率:人口 10 万対 (表 11 から作成)

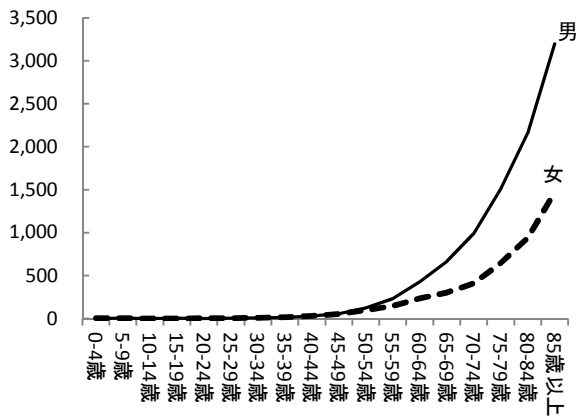
罹患上位5部位年齢階級別死亡率(人口10万対) 男



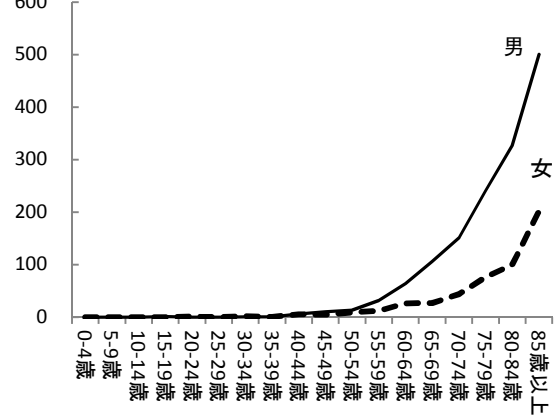
罹患上位5部位年齢階級別死亡率(人口10万対) 女

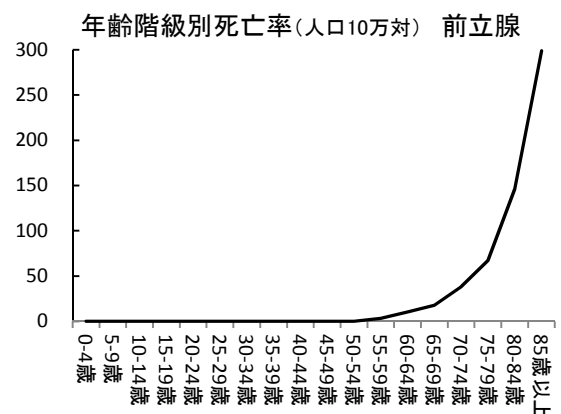
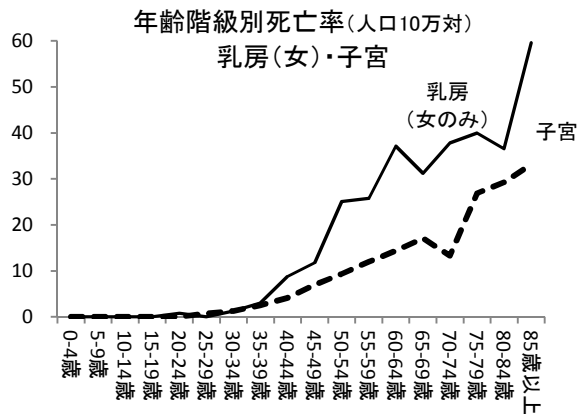
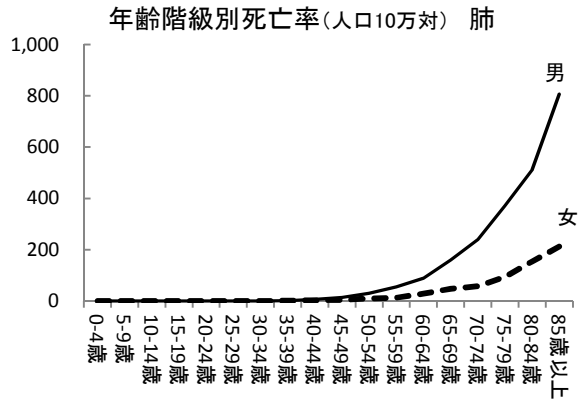
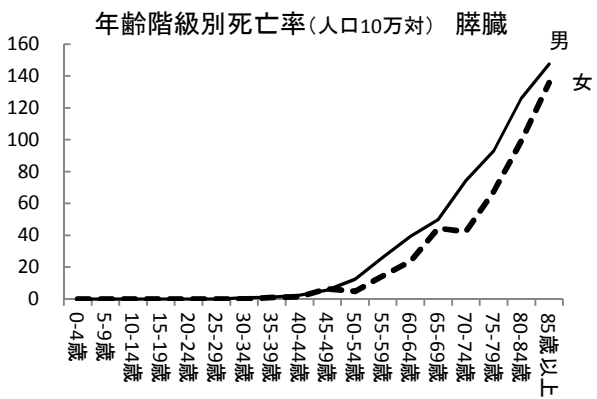
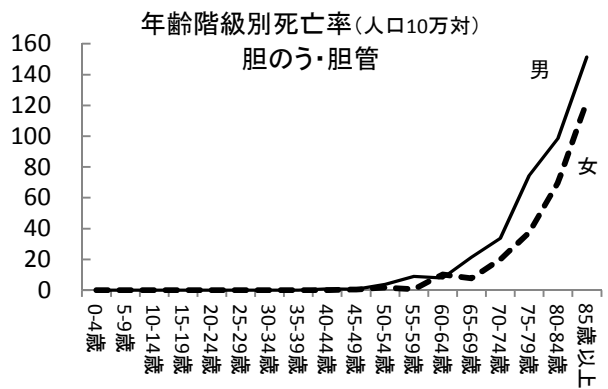
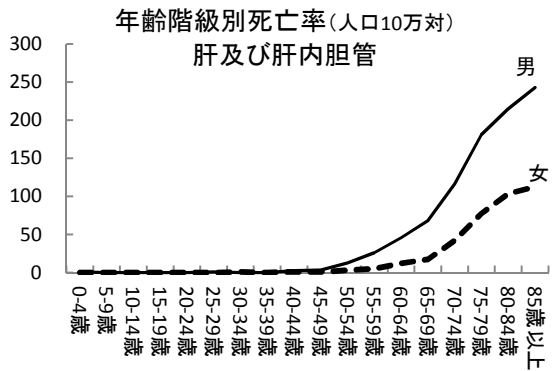
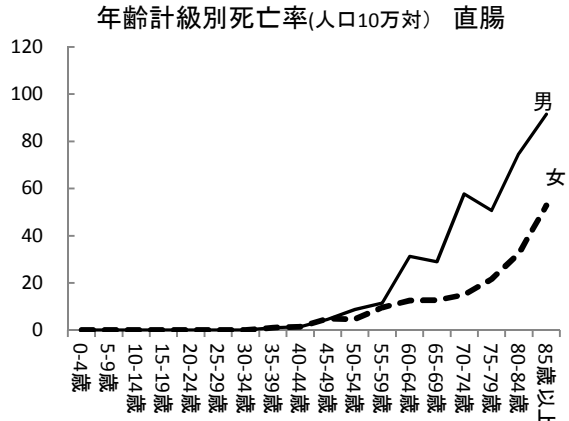
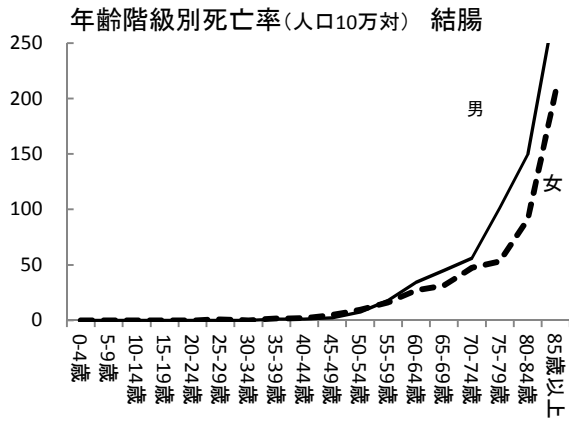


年齢階級別死亡率(人口10万対) 全部位



年齢階級別死亡率(人口10万対) 胃





●兵庫県のがんの死亡の特徴

全国と比べて、男性では、胃、肝臓、肺、女性では、大腸、肝臓の粗死亡率が高かった(図13)。なお、年齢調整死亡率については、(図14)のとおりであり、同じ傾向にある。

図13 部位別がん粗死亡率:人口10万対 (表9から作成)

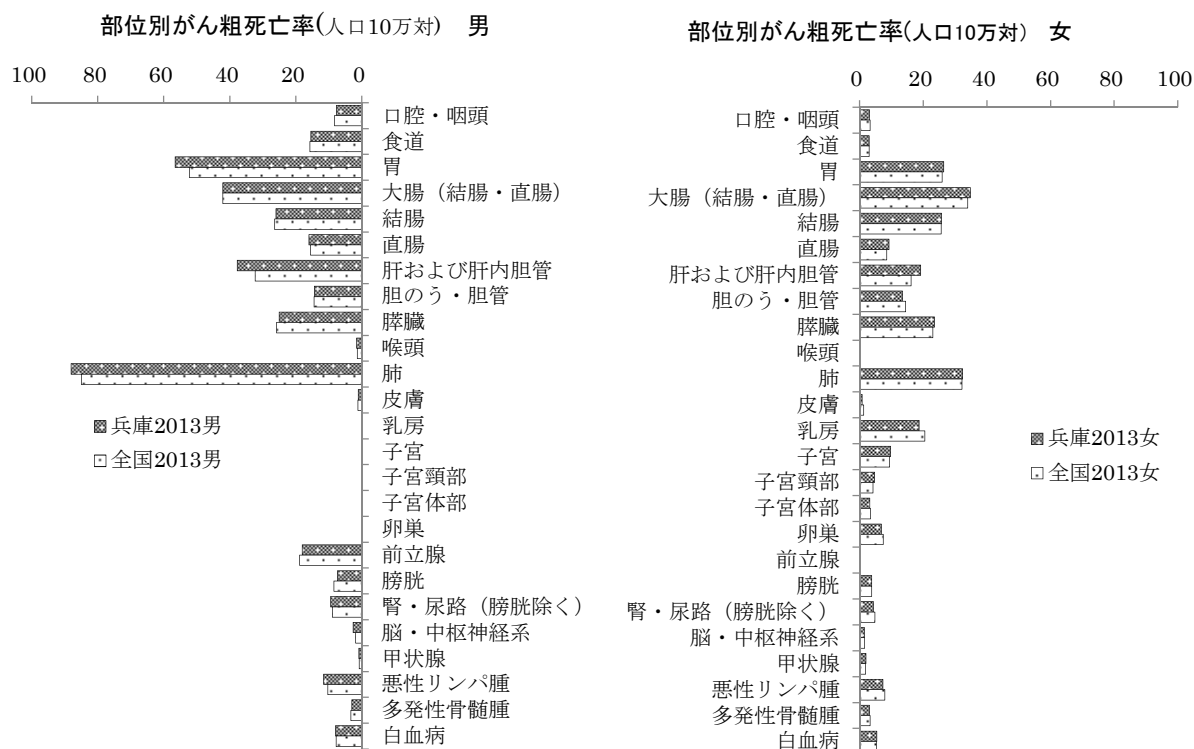
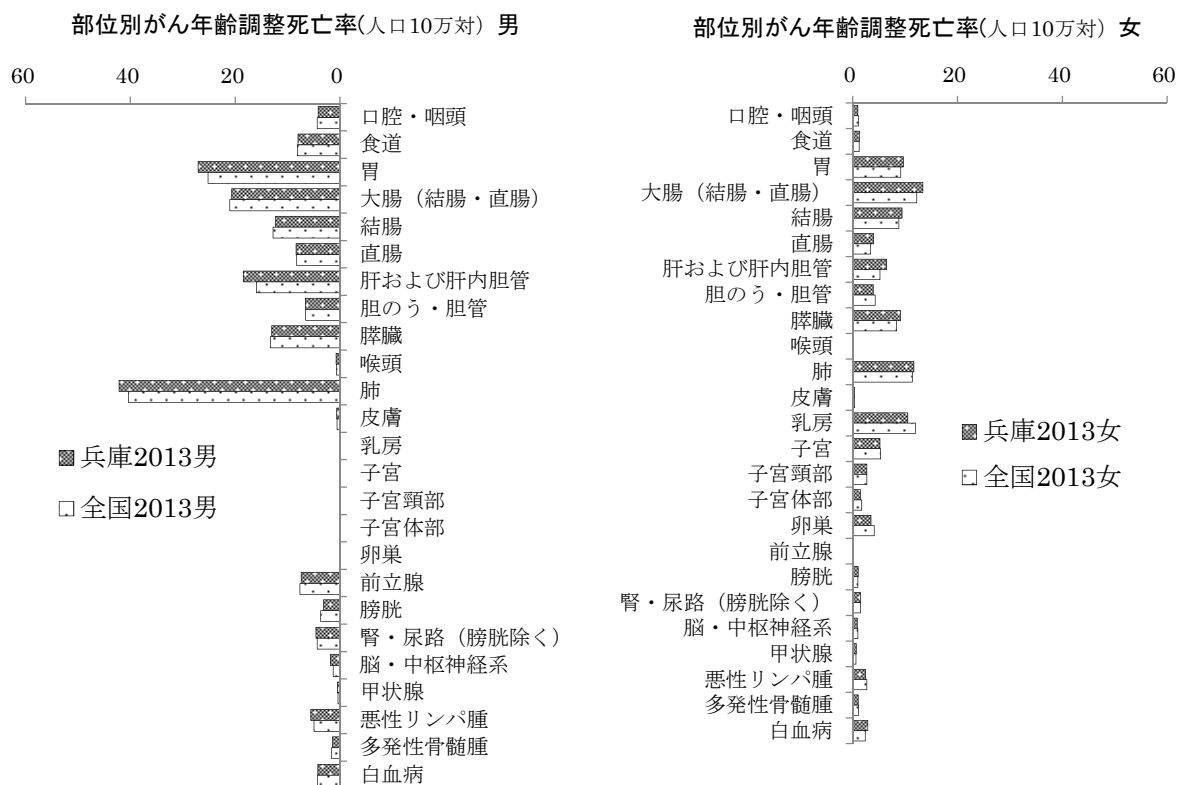


図14 部位別がん年齢調整死亡率:人口10万対 (表9から作成)



* 全国のは、国立がん研究センターがん対策情報センター発行「全国がん罹患モニタリング集計2013年罹患数・率報告」より引用

兵庫県のがん統計(罹患)の概要

2018(H30).1.15

I 登録等の状況

1 医療機関からの届出・登録状況(H29.12末現在)

単位:件

年度	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29) 4~12月	計
届出件数	4,899	15,120	19,653	29,402	35,077	44,562	50,637	50,822	58,916	38,405	2,676	350,169
登録件数	1,700	8,750	23,645	24,357	23,032	44,343	54,511	49,742	39,202	56,145	3,283	328,710

注:届出件数は県外情報も含む
注:2017年は地域がんのみの集計値

2 死亡転写票(人口動態調査死亡小票の写し)の登録状況(H29.12末現在)

*届出票による登録漏れの補完、登録者の死亡日の確認

単位:件

受理件数(累計)	登録件数(累計)	腫瘍あり(G票)(累計)	腫瘍なし(K票)(累計)
496,633	479,611	156,693	322,918

3 遡り調査の状況(H29.12末現在)

*死亡票でのみ把握されている腫瘍を抽出し、死亡診断した医療機関に罹患情報の提出を依頼する。 単位:件

調査実施年	対象年	対象件数	回答件数	登録件数
2012(H24)年	2008年	5,416	5,113(94%)	4,972
2013(H25)年	2009年	5,445	5,040(93%)	4,849
2013(H25)年	2010年	4,603	4,318(94%)	4,142
2014(H26)年	2011年	3,124	3,069(98%)	2,943
2015(H27)年	2012年	2,643	2,474(94%)	2,407
2017(H29)年	2014年	1,591	1,471(92%)	1,453
計		22,822	21,485(93%)	20,766

注:回答と登録件数の差は、(調査結果)「不明」分及び既登録の修正。
注:H28年度は、システム移行の都合上実施せず

4 生存確認調査の状況(H29.12末現在)

*住民票照会による生存確認作業

調査実施年	対象年	対象件数	回答件数	「該当なし」率	登録件数
2014(H26)年	2007年	9,360	9,360	22.6%	9,269
2015(H27)年	2008年	11,215	11,215	19.2%	—
計		20,575	20,575	—	9,269

注:H28、29年度はシステム移行の都合上実施せず

II 集計の内容

1 集計の時期

平成29年3月16日現在

2 罹患統計の取り方

(1) 集計の期間 各年における、罹患年月日が1月1日から12月31日の間の1年間
なお、過去の罹患年については再集計

(2) 罹患年月日の決め方

- ①届出による登録例は、初めて当該がんと診断された年月日を罹患年月日とする。
- ②届出がなく、死亡小票の写しによってがん罹患が判明した例(DCO例)は、死亡年月日をもって罹患年月日とする。

(3) 集計対象

- ①ICD-O-3(国際疾病分類-腫瘍学第3版)分類の性状2(上皮内)、3(悪性、浸潤性)で示される新生物(頭蓋内の新生物は良性及び性状不詳を含む)
- ②DCO例については、上記①に加えて、ICD-O-3分類の性状1(良性・悪性の別不詳:例 悪性の明示のない〇〇腫)で示される新生物による死亡で、部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺

Ⅲ 集計の経緯

1 罹患数

国立がん研究センター報告対象年:

罹患年		2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)
2011 (H23)	A(上皮内がんを除く)	27,115	27,369	27,317					
	B(上皮内がんを含む)	28,116	28,760	28,815					
2012 (H24)	A(上皮内がんを除く)	27,487	27,894	29,048	31,944				
	B(上皮内がんを含む)	28,538	29,330	30,721	34,068				
2013 (H25)	A(上皮内がんを除く)	28,402	30,438	31,910	35,365	35,564			
	B(上皮内がんを含む)	29,523	31,995	33,777	37,908	38,589			
2014 (H26)	A(上皮内がんを除く)	28,947	31,028	32,539	35,626	36,524	36,856		
	B(上皮内がんを含む)	30,216	32,765	34,595	38,209	39,661	40,582		
2015 (H27)	A(上皮内がんを除く)	29,066	31,273	32,895	36,000	37,342	37,640	36,428	
	B(上皮内がんを含む)	30,338	33,027	34,981	38,625	40,571	41,493	40,246	
2016 (H28)	A(上皮内がんを除く)	31,124	29,793	31,007	33,961	35,895	36,755	37,801	39,982
	B(上皮内がんを含む)	32,341	31,445	32,973	36,396	38,914	40,395	41,535	44,331

2 精度指標の経緯(上皮内がんを除く全部位)

集計年	罹患年 区分	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)
2011 (H23)	DCN	49.9%	42.7%	39.8%					
	DCO	49.9%	42.7%	39.8%					
	国際 DCO	44.7%	38.7%	36.3%					
	I/M	1.79	1.79	1.75					
	MV	51.0%	56.1%	58.0%					
2012 (H24)	DCN	49.1%	42.0%	36.8%	29.9%				
	DCO	49.1%	25.3%	36.8%	29.9%				
	国際 DCO	44.0%	23.5%	33.6%	27.3%				
	I/M	1.81	1.83	1.86	2.01				
	MV	51.6%	65.5%	60.5%	66.6%				
2013 (H25)	DCN	47.3%	41.2%	35.6%	28.5%	24.1%			
	DCO	47.3%	25.8%	21.9%	18.0%	24.1%			
	国際 DCO	42.4%	23.9%	20.5%	16.8%	22.1%			
	I/M	1.87	1.99	2.05	2.23	2.22			
	MV	53.1%	65.5%	69.1%	73.3%	71.4%			
2014 (H26)	DCN	46.1%	40.0%	34.5%	28.0%	23.1%	20.3%		
	DCO	46.1%	25.0%	20.8%	17.5%	15.8%	20.3%		
	国際 DCO	41.4%	23.2%	19.5%	16.3%	14.7%	18.8%		
	I/M	1.91	2.03	2.09	2.25	2.28	...		
	MV	54.0%	66.4%	70.1%	73.7%	76.2%	74.8%		
2015 (H27)	DCN	45.9%	39.7%	34.1%	27.6%	22.4%	19.0%	18.0%	
	DCO	45.9%	24.8%	20.5%	17.3%	15.2%	13.3%	18.0%	
	国際 DCO	41.2%	23.0%	19.2%	16.1%	14.1%	12.6%	16.8%	
	I/M	1.92	2.05	2.11	2.27	2.33	2.35	2.24	
	MV	54.2%	66.6%	70.5%	74.0%	76.9%			
2016 (H28)	DCN	49.4%	36.5%	29.6%	23.0%	18.7%	15.0%	17.1%	12.1%
	DCO	38.3%	24.0%	20.2%	16.9%	14.6%	12.6%	15.9%	11.3%
	国際 DCO	-	-	-	-	-	-	-	-
	I/M	2.05	1.95	1.99	2.14	2.24	2.29	2.32	2.46
	MV	55.3%	66.7%	70.5%	74.4%	77.2%	79.7%	77.4%	81.3%

DCO: 死亡票のみの情報しかないものの割合

DCN: 死亡票で初めて登録されたものの割合

I/M(罹患/死亡比): 同一時期のがん死亡数と罹患数との比をとったもの

MV: 病理学的裏付けのある症例の割合

* 第3次対がん総合戦略研究事業「がんの実態把握」研究班における地域がん登録の目標

I/M 比が 2.0 以上、DCN 20%未満、DCO 10%未満の全てを満たすこと

IV 2017年集計結果

1 罹患数

区分	罹患年	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)
A (上皮内がんを除く)		29,066	31,273	32,895	36,000	37,342	37,640	37,801	39,982
B (上皮内がんを含む)		30,338	33,027	34,981	38,625	40,571	41,493	41,535	44,331
がん死亡数(人口動態統計)		15,156	15,260	15,589	15,855	16,022	16,035	16,288	16,273

2 罹患の特徴 (上皮内がんを除く)

(1) 罹患数

① 男性(罹患数、罹患割合)

罹患年	罹患数	罹患割合 (%)						
		胃	結腸	直腸	肝・肝内胆管	肺	前立腺	その他
2007(H19)	17,508	16.9	7.8	4.5	10.2	19.3	9.1	32.2
2008(H20)	18,607	17.4	7.6	4.9	9.9	18.4	9.5	32.3
2009(H21)	19,610	17.2	7.8	4.9	9.5	17.6	11.6	31.4
2010(H22)	21,577	18.0	8.1	5.2	8.3	17.2	12.8	30.4
2011(H23)	22,167	17.5	9.0	5.4	8.0	16.2	14.0	29.9
2012(H24)	22,344	17.7	8.7	5.5	6.9	16.0	14.4	30.8
2013(H25)	22,278	18.2	8.7	5.7	6.4	16.3	14.0	30.7
2014(H26)	23,402	18.0	8.8	5.6	6.4	16.0	14.1	31.1

② 女性(罹患数、罹患割合)

罹患年	罹患数	罹患割合 (%)							
		胃	結腸	直腸	肝・肝内胆管	肺	乳房	子宮頸部	その他
2007(H19)	11,558	12.3	9.3	4.2	7.3	11.2	16.0	3.4	36.3
2008(H20)	12,666	12.3	9.8	4.3	7.2	10.7	15.8	3.6	36.3
2009(H21)	13,285	12.0	10.1	4.3	7.2	11.1	16.7	2.9	35.7
2010(H22)	14,423	12.4	10.8	4.5	6.4	10.7	16.9	3.0	35.3
2011(H23)	15,175	11.7	11.1	4.6	6.0	10.2	18.8	3.0	34.6
2012(H24)	15,296	11.9	11.2	4.9	5.4	10.1	19.2	2.8	34.5
2013(H25)	15,523	12.1	11.4	4.8	4.7	10.4	18.4	2.8	35.4
2014(H26)	16,580	11.6	11.5	4.3	4.6	10.4	20.0	3.0	34.6

(2) 罹患率

①-1 粗罹患率 男性 (人口10万対)

罹患年	胃	大腸(結腸・直腸)	肝・肝内胆管	肺	前立腺
2007年	110.4	80.6	66.8	126.1	59.5
2008年	120.7	87.0	68.6	127.7	66.0
2009年	126.1	92.5	69.4	128.8	84.7
2010年	145.0	107.4	66.7	138.7	103.7
2011年	145.5	119.3	66.8	134.8	116.2
2012年	148.7	119.8	58.2	134.4	120.8
2013年	152.6	120.8	53.7	136.7	117.6
2014年	159.5	126.9	56.6	141.8	124.3

①-2 粗罹患率 女性 (人口10万対)

罹患年	胃	大腸(結腸・直腸)	肝・肝内胆管	肺	乳房	子宮頸部	卵巣
2007年	48.7	53.7	29.1	44.4	63.4	13.6	14.4
2008年	53.4	61.3	31.1	46.4	68.6	15.5	14.4
2009年	54.5	65.7	32.7	50.4	76.3	13.3	14.1
2010年	61.1	75.6	31.6	52.8	83.6	14.8	15.2
2011年	61.0	81.8	31.4	53.2	98.1	15.6	14.8
2012年	62.8	84.6	28.6	53.3	100.9	14.9	14.1
2013年	64.7	86.2	25.1	55.8	98.3	14.9	14.5
2014年	66.0	90.4	26.4	59.5	114.5	17.3	15.0

②-1 年齢調整罹患率 男性 (人口 10 万対)[日本人人口]

罹患年	胃	大腸(結腸・直腸)	肝・肝内胆管	肺	前立腺
2007年	66.0	49.0	39.8	73.0	33.3
2008年	69.7	51.2	39.3	71.7	36.1
2009年	71.1	53.0	39.5	70.6	44.9
2010年	80.0	60.6	36.4	74.4	54.1
2011年	77.6	66.4	35.4	70.6	59.6
2012年	77.8	65.3	30.6	69.2	60.1
2013年	78.8	64.9	27.5	68.6	56.9
2014年	80.1	67.9	28.5	69.5	59.3

②-2 年齢調整罹患率 女性 (人口 10 万対)[日本人人口]

罹患年	胃	大腸(結腸・直腸)	肝・肝内胆管	肺	乳房	子宮頸部	卵巣
2007年	24.0	27.3	12.9	21.8	47.6	10.7	10.2
2008年	25.8	30.4	13.6	22.1	51.0	12.3	10.1
2009年	25.4	31.8	14.0	23.0	56.5	10.4	10.6
2010年	28.0	36.2	13.3	23.9	60.3	11.4	10.9
2011年	28.2	39.2	12.3	24.0	70.6	12.4	11.2
2012年	27.3	39.6	11.2	23.2	71.0	12.2	10.1
2013年	27.7	40.0	9.4	23.6	69.6	12.0	10.2
2014年	28.3	41.4	9.7	25.5	80.0	13.9	11.3

(3) 発見の経緯 (上皮内がんを除く)/全部位

(%)

罹患年	集計対象数	がん検診	健診・人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	自覚症状・ その他・不明
2007(H19)	15,720	4.8	5.6	23.4	0.0	66.1
2008(H20)	23,522	3.5	5.9	26.6	0.1	63.9
2009(H21)	26,139	3.8	6.4	28.1	0.1	61.6
2010(H22)	29,790	4.7	6.0	27.6	0.1	61.6
2011(H23)	31,683	5.1	5.8	29.2	0.1	59.8
2012(H24)	32,626	5.3	6.2	30.8	0.1	57.7
2013(H25)	31,365	11.8		31.5	0.1	56.6
2014(H26)	35,320	11.4		32.6	0.1	56.0

* 集計対象数は、医療機関からの届出情報から得たもの。

* 2013年から「がん検診」と「健診・人間ドック」は合計数となった。「がん検診」欄に記載

(4) 臨床進行度分布 (上皮内がんを除く)/全部位

(%)

罹患年	集計対象数	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明
2007(H19)	15,720	40.4	10.4	15.6	16.0	17.6
2008(H20)	23,522	35.2	9.2	15.1	18.3	22.2
2009(H21)	26,139	37.4	8.3	15.6	18.4	20.3
2010(H22)	29,790	40.4	8.5	16.2	19.2	15.8
2011(H23)	31,683	42.7	8.8	16.3	19.4	12.8
2012(H24)	32,626	44.2	9.4	14.5	20.2	11.8
2013(H25)	30,702	47.7	9.3	15.3	20.7	7.0
2014(H26)	34,738	47.5	9.6	14.9	19.8	8.3

* 集計対象数は、医療機関からの届出情報から得たもの。